

第2回岐阜市自然環境保全推進委員会が出された「第2期岐阜市生物多様性プラン（案）」に対する意見について

項目	該当箇所	意見の概要	対応
1	P31	農地について、放棄農地のことについて全然記載がない。山に近いところの放棄農地もあれば平野部にもある。2026年から2035年までの間にどんどん進んでいくと思うので、放棄農地についても記載してはどうか。 (福井委員)	以下のように修正しました。 鳥類の中では、バン、ケリ、タマシギなどが水田や休耕田、湿地に生息しますが、農地転用などが進んでいることから、いずれも減少しています。またウグイス、ヒヨドリなどは山際の雑木林やそれらに繋がる雑草が繁茂した農地などに生息しています。雑草が繁茂した農地などは、哺乳類のタヌキ、キツネなどが生息場所として利用しています。外来種であるアライグマ、ハクビシンなどもこのような環境を利用して生息するようになっています。
2	P32 2行目	シギやチドリは現在ほんの少ししか見られないため削除するべきではないか。 (福井委員)	
3	P35	長良川の様々なことが書かれていますが、ここ数年大規模な環境変化があり、生物相が変化したが、そのことが全然書かれていない。例えば河畔林伐採でオオタカなどが全然いなくなったことや他の鳥類もかなりの変化があった。その記載があってもいいのではないか。 (福井委員)	以下のように修正しました。 河川敷に発達した河畔林は小動物や小鳥類の生息地であり、オオタカ、ノスリなどの餌場にもなります。一方で、近年、防災上の理由から河畔林の伐採などが数年の間に大規模に実施されることによって、河川敷の環境が一度に変化してしまうということが懸念されます。

項目	該当箇所	意見の概要	対応
4	P29、P41	コラムだけが行間が詰まって書かれているので他と同じようにしてはどうか。 (楠田委員)	他のコラムと同じように修正しました。
5	P64～	資料編がありますが、本文中には引用のような形ではつけられていないのでしょうか。どこをリンクしているのかというのが分かりづらい。どこの補足資料なのかということが、もう少し分かりやすいほうがいいのではないか。 (岡本委員)	P16以降、リンクしている関連資料について分かるように記載しました。
6	P64～	資料はカラーユニバーサルですか。カラーユニバーサルに書かれているか、色覚多様性に配慮しているか、円グラフの境目には必ず白い線を入れるなど、色以外の情報で可能な限り区別できる資料になっているかどうか。 (加藤委員)	可能な範囲で、カラーユニバーサルに対応するように記載しました。